

保護者各位

登別市立登別小学校長  
上 渡 秀 一

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

残暑の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動の推進に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、4月18日（木）、本校におきまして、6年生を対象として標記調査を実施したところでございますが、過日、国より調査の結果が届きました。その中で、前年度までの国語、算数（理科の調査は、本年度はありません）の学力定着状況について、また、児童の学習状況にかかわっての貴重な分析結果を得ることができました。今回の結果につきましては、当該学年の結果としてだけでなく、本校の5年間の学びの足跡としてとらえ、これからの学習指導、生活指導等に活かしてまいります。下部・裏面には、各教科並びに児童質問紙の結果の概要、全国平均との比較について記載しておりますので、ご覧ください。

6年生のお子さん一人ひとりの個人別の結果に関しましては、学習内容の定着度合を把握し、さらなる個に応じた指導に役立ててまいります。また、個人票につきましては、個別にお子さんを通じて各ご家庭にお返しいたします。

6年生の保護者様は本資料と個人票を、また、それ以外の学年の保護者様は、先般の標準学力調査の結果と合わせて見ていただくことで、今後のお子さんへのご家庭での指導の一助として、役立てていただけますと幸いです。

最後に、本調査により測定できるのはあくまでもお子さん一人ひとりの学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

1：調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2：調査概要

- ① 小学校6年生、中学校3年生
- ② 国語科、算数科（数学科）、英語（中学校のみ）※本年度は理科の調査はありません。
- ③ 生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙

3：調査結果（本校の矢印は、全国との差を表しています。）

<平均正答率（％）>

	本校	全国平均	全道平均	本市平均
国語	↓	67.7	67	/
算数	↘	63.4	61	/
理科	令和6年度は、調査がありません。			

<矢印の意味>

全国平均正答率と、本校の平均正答率の差を表しています。

- ↑：上回る（概ね5.1p以上）
- ↗：やや上回る（概ね2.1p以上）
- ：同程度（概ね-2p～+2pの間）
- ↘：やや下回る（概ね-2.1p以下）
- ↓：下回る（概ね-5.1p以下）

※市と道の結果につきましては、四捨五入して公表されております。  
※市全体の結果は10月になる見通しです。

<観点別・問題形式別正答率（％）>

観点・形式	①国語科		
	本校	全国平均	全道平均
知識・技能	↓	69.8	69.0
思考・判断・表現	↓	66.0	65.1
選択式	↘	69.9	68.9
短答式	↓	59.7	58.9
記述式	↓	64.6	64.2

②算数科		
本校	全国平均	全道平均
↘	72.8	69.6
↓	51.4	49.0
↘	75.3	72.9
↘	62.0	58.8
↓	51.0	48.3

③理科		
本校	全国平均	全道平均
令和6年度は調査がありません。		



## <結果分析と今後の学習について>

### <国語科>

・全体として、全道・全国の平均正答率を下回る結果となりました。観点別・形式別で見ると、特に知識や技能に関する問題のうち、情報の扱い方に関する事項の正答率は全国の平均より高く、内容別で見ると、「書くこと」に関する問題は、全国に比べかなり低い結果となりました。問題別で見ると、メモの内容を適切に分類したり関連付けたりすること、話し言葉と書き言葉を区別することについては、全道・全国の平均と比べ高い結果となりました。一方、一部の問題を除き、無回答（何も答案用紙に書かない状況）の割合が、全道・全国より高く、児童全体がねばり強く、あきらめずに調査問題に取り組むことに、課題が認められました。また、5年生までに学習する漢字や熟語を正しく書くこと、同音異義語や送り仮名に注意して書くこと、物語文を注意深く読み、人物像を捉えることに関する問題では、全国・全道の正答率と比べて、大きな課題が認められました。

○学校では、朝学習や繰り返しの小テスト、ICT端末の活用により、「習った漢字を使う」「正しく書く」ことを中心とした基礎・基本の定着に努めてまいります。また、「叙述を根拠に心情や情景について丁寧に考える」こと、問われていることに対して、すぐに考えが浮かばなくても、ノートやICT端末に、メモしたり整理したり、それを基に話し合ったりすることで、自分なりの考えをもつことについて、授業改善に努めてまいります。

### <算数科>

・全体として、全道・全国の平均をやや下回る結果となりました。領域別・形式別で見ると、数量の変化とその関係について考える領域では、正答率が全国平均並みであった一方、「適切な算数的用語や、言葉、数字を用いて、説明したり理由を書いたりする問題」、また、データを正しく読み活用することに関する領域など、思考力、判断力、表現力を図る問題で、課題が認められました。問題別で見ると、□を使った式（文字式）や、速さの意味について考える問題、円グラフを正しく読む問題は、全国と比べても比較的高い正答率でした。一方、比較的長い問題文となったときに、問われていることをおさえながら、必要な数量やその関係を正しく表すこと（四則演算の選択）や、日常生活にあり得る場面を、算数的・数学的に考え、習った公式を適切に活用して解く問題では、大きな課題が認められました。

○学校では、引き続き、朝学習や小テスト、ICT端末を活用した、個別最適な学び直しにより、全ての児童に、基礎的・基本的な力が身に付くよう、努めてまいります。また、問題文の意味を整理して考えさせるとともに、身に付けた知識・技能と「実生活の中にある事象」が関連付けられながら、学びを深められるよう、ICT端末やノートを適切に活用して整理したり書いたり、説明したり振り返ったりする授業改善に努めてまいります。

### <質問紙>

・全国の平均と比べ、著しく差があった質問項目は以下の通りでした。（質問項目の一部を抜粋）特によくなかった項目については、学校全体の課題としてとらえ、授業改善、各ご家庭・地域との連携により、改善を図ってまいります。

#### ○全国の平均値とくらべて、特に肯定的回答が多かった質問項目

- ・学校以外でタブレットを学習に使用しているか。
- ・スマホやゲーム機の家での約束を守っているか。
- ・健康に過ごすために習ったことを、実生活に役立てているか。
- ・自分にはよいところがあるか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいか。
- ・分からないことがあったときは、自分で学び方を考えて工夫しているか。
- ・地域社会をよくするために何かしてみたいと思うことがあるか。
- ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりしているか。
- ・学習内容で分かったこと、分からなかったことを見直し、次の学習につなげているか。
- ・学習したことを、次の学習や、実生活に結びつけて考えているか。
- ・学級生活をよりよくするための話合いで、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか。
- ・英語の学習は好きか。

#### ▲全国の平均値とくらべて特に肯定的回答が少なかった、またはよくなかった質問項目

- ・1日1時間以上ゲーム・スマホ等の電子メディアを触っている（平日・休日ともに）
- ・休日（土日祝）の学習時間が1時間未満の割合。
- ・休みの日の過ごし方はゲームやテレビが多い
- ・新聞を読んでいるか（月に一回でも）。
- ・家に、どれくらい漫画・雑誌以外の読書用の本があるか。
- ・国語の学習内容はよくわかるか。
- ・算数の学習は好きか。
- ・理科の学習は好きか。



### <ご家庭では…>

- ・学校でのお子さんの健やかな学びには、家庭での生活リズムや学習習慣など、基本的な生活習慣の定着が欠かせません。今後とも、確実な宿題の取組、家庭学習（家庭学習チェックシートの入力・めあて・ふりかえりの入力を含む）の取組について、お子さんへのお声かけや励ましのご協力をお願いします。（おおむね学年×10分以上です。）
- ・また、本校の課題の一つである、ゲームやスマートフォンから遠ざかる取組やご家庭での積極的な読書啓発のご協力、また、今後も継続して、早寝・早起き・朝ご飯、歯磨きなど、生活リズムを整える取組について、積極的なお声かけと、ご協力をお願いいたします。